**Ｈ25年度　第1回　技術サロン開催案内**

昨年12月、 高速道路のトンネルの吊り天井が落下し、９名の死者を出すといった大事故が起こり、改めて社会インフラの老朽化や使用材料の経年劣化が問題視されていま す。今まさに、我々の身の回りの多くの構造物に対して、改めてその健全性を見直す時期にきていることを示唆しているのではないでしょうか。

遡って1975年には、水島のある工場で石油備蓄タンクの底板が破損して、瀬戸内海に大量の原油が流出する大事故が起こり、これを契機にタンク底板の定期開放検査が義務付けられるようになりました。また、1985年の日航機墜落事故では、機体の後部圧力隔壁の損傷破壊が原因とされ、金属疲労に対する非破壊検査が注目されるようになりました。

このように事故が起きるたびに、それらの失敗事例を反省材料として、我々はさらに安心・安全な社会を構築するための努力を積み重ねてきました。

今回の技術サロンでは、溶接構造物に関わる不具合・クレームの過去の実例を挙げ、その解析方法及び対応策について解説することを主眼とし、溶接構造物の維持管理に必要な技術について、非破壊試験の果たす役割も含めて討論することを企画しました。

ご 講演いただく杉田屋卓氏は、ほぼ半世紀にわたって製鋼、溶接及び機械エンジニアリングに関して、技術研究から現場応用に至る広範囲の業務に従事され、その 豊富な知識と経験をベースに、現在もなお技術コンサルタントとして活躍されています。また、国際溶接検査技術者、非破壊試験６部門すべてのレベル３など、 全部で２５を超える資格認証を保有されており、受験に当っての苦労話も披露して頂けるものと期待しています。多数の皆様のご参加いただきますようにご案内いたします。

**記**

1　　開催日時：平成２５年９月２７日（金）　15：00　～17：00

2　　開催場所：（一財）電子科学研究所　心斎橋研修センター　３階会議室

3　　講師：杉田屋卓　氏（杉田屋テクノコンサルティング事務所）

講演テーマ：「事故事例から学ぶ溶接構造物の健全性評価」

　　　　　　　司会　　横野泰和　氏　　（ポニー工業株式会社）

4　 募集定員　　　　　30名

5　 参加費　　　1000円

6　　申込み先：

関西支部のホームページ http://www.jsndi-kansai.jp/ の「お知らせ」の「申し込み」より、会員番号、住所、会社名、氏名、電話番号、Eメール・アドレスを記入してお申し込み下さい。あるいは、E-mail ( kansaishibu@esi.or.jp ) による申込みも受け付けます。

会場の地図はホームページに記載されています。